

先賢ゆかりの地マップ

1 江馬蘭齋・江馬細香 江馬蘭齋 蘭香塾(好蘭堂)跡

蘭香塾
寛政7年(1795)大垣藩江馬蘭齋が開設し、多くの門人に蘭学を教えた地。細香の遺舎である湘夢齋屋も江馬家邸内にあった。



2 江馬蘭齋・江馬細香 蘭齋・細香の墓

墓所
藤江町神津寺内に父娘並んで建立されている。蘭齋は天保9年(1838)没。享年92歳。細香は文久元年(1861)没。享年75歳。



3 飯沼悠齋 飯沼悠齋邸跡

邸跡
飯沼悠齋は、12歳のとさき翁を志し、大垣徳町の町医・飯沼長頼のもとで学んだ。のちに医業の跡を継ぎ、蘭方医として活躍した地。



4 飯沼悠齋 解剖の地

本学1066号地
飯沼悠齋が、漢の許可を得て、門人浅野恒進と美濃国で初めて死体解剖を行った今村墓地。



5 飯沼悠齋 平林荘跡

市立史跡 長松町757-1
飯沼悠齋が、晩年を過ごし、植物学の研究に専らした地。



6 飯沼悠齋 平林荘門

市立史跡 長松町757-1
門は大垣城清水口門を移築。



7 飯沼悠齋 顕彰碑

大正公署前
明治30年(1905)11月9日、悠齋の門人たちがより建立された。碑文は悠齋の友人である伊藤圭介による。



8 梁川星巖 華溪寺

市立史跡
梁川星巖の弟、大徳和徳が住持を務めた寺。境内には星巖の墓も建立されている。



9 梁川星巖 庚申像

市立史跡
12歳で両親を失った星巖が、その供養のために建立した像。自らの正面に、見ざる・聞かざる・言わさざるの3像が刻まれている。



10 梁川星巖 梁川星巖記念館

市立史跡 長松町1721-1 華溪寺境内
華溪寺境内にある資料館



11 梁川星巖 梁川星巖邸跡

市立史跡 長松町1721-1 華溪寺境内
梁川星巖は、寛政元年(1789)曾根村の郷士稲津長高の長男としてここに生まれた。



12 江馬細香 退筆塚

市立史跡 長松町756-1
江馬細香の死を悼み、小原鉄心が創設した塚。生前、細香が使用した筆なども埋められている。



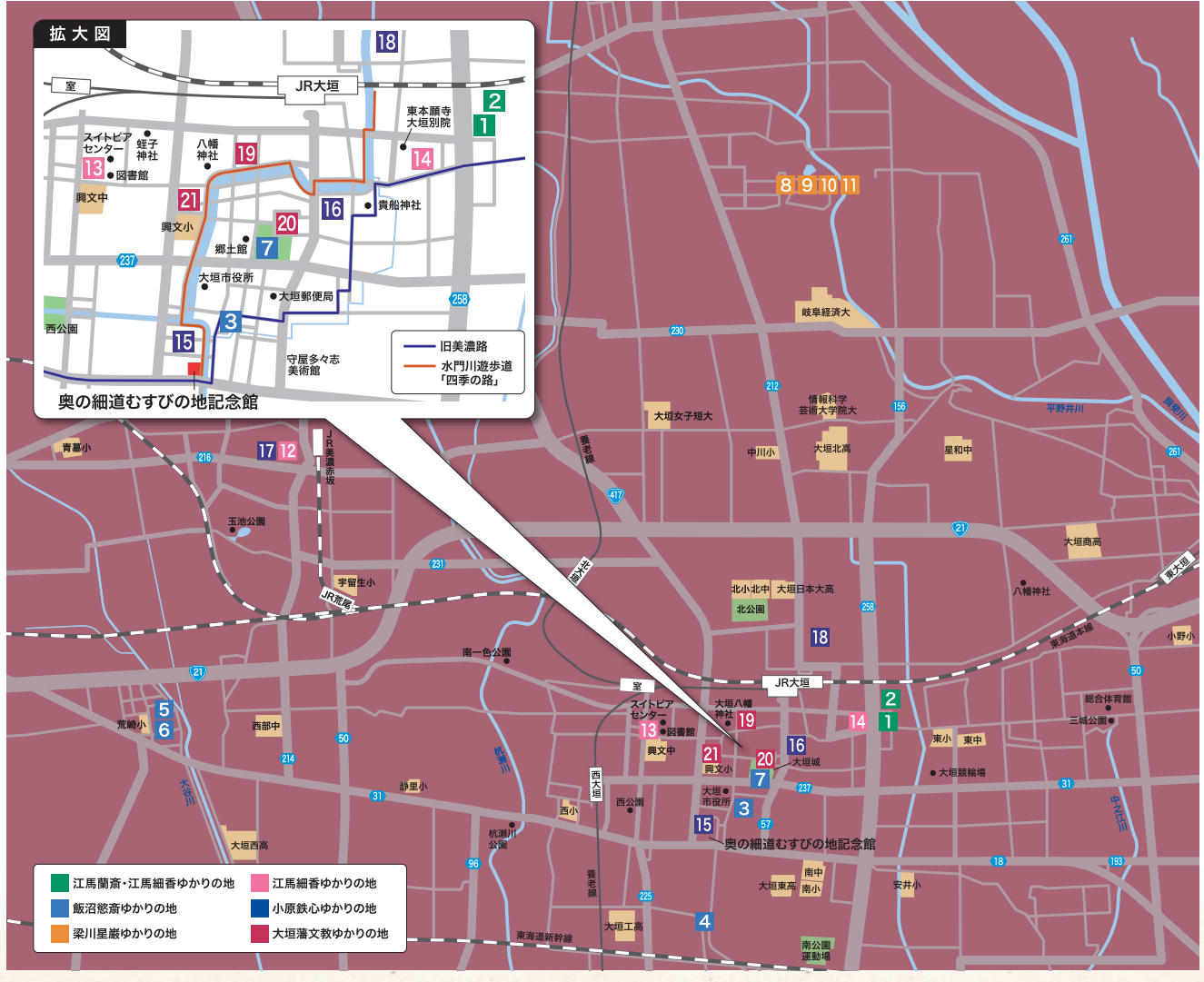
13 江馬細香 「冬夜」詩碑

市立史跡 長松町215(55号地)
父敬齋とともに字間に進む種子を詠んだ細香の漢詩「冬夜」が刻まれている。



14 江馬細香 突相寺

市立史跡
梁川星巖とともに字間に進む種子を詠んだ細香の漢詩「冬夜」が刻まれている。

- 江馬蘭齋・江馬細香ゆかりの地
- 飯沼悠齋ゆかりの地
- 梁川星巖ゆかりの地
- 江馬細香ゆかりの地
- 小原鉄心ゆかりの地
- 大垣藩文政ゆかりの地

21 文政ゆかりの地 戸田家廟所

市立史跡 西外町1-35(1内町)
初代藩主戸田氏直の廟所。11代氏共は室町時代藩主の廟所



20 文政ゆかりの地 大垣城

跡地
天文4年(1535)に創築したと伝えられる。跡ヶ敷合戦時には石田三成軍の陣地となる。寛永12年(1635)初代藩主氏直の入城から開始に至るまで、戸田氏10万石の居城となつた。



19 文政ゆかりの地 大垣藩校教習跡

跡地
天保11年(1840)に設立された。弘化4年(1847)に改称された大垣藩学問所跡地



18 小原鉄心 無何有社跡

市立史跡 長松町4
安政3年(1856)冬、鉄心は城北の林村(現・林町)に別荘無何有社を作った。



17 小原鉄心 鉄心・研山 岡山盟約の地

市立史跡 長松町756-1
小原鉄心と藩友の大垣藩士島原研山は、国家のために尽くすことを誓い合った。両名の碑が建立されている。



16 小原鉄心 小原鉄心邸跡

市立史跡 長松町1
鉄心は、文化14年(1817)11月3日、美濃の郡山藩邸にある小原邸で生まれた。この邸は、大垣城郭内にあり、1,000坪の広大な屋敷構えであったといわれている。



15 小原鉄心 小原鉄心の墓

市立史跡 長松町215(55号地)
鉄心は、明治5年(1872)4月15日に病気で没す。享年56歳。

